

【助産診断・技術学】

科目名	健康教育技法	講師名	①専任実習指導者 (12) ②専任教員 (18)	学	1	履修期	第1学期						
単位	1単位			年									
時間数	30時間												
講師実務経験	①②助産師としての実務経験あり												
授業概要	健康教育の原理と技法を理解し、リプロダクティブヘルスに関する相談・教育・援助技術の基本技術を習得する。												
授業科目目標	1. 健康教育の理論が理解できる。 2. 健康教育に活用できる基本的な技法が理解できる。 3. 集団指導の企画・運営・評価のための基礎的能力を習得できる。												
授業内容	講師① 12時間 第1回 1. 健康教育の理論、教育技法 1) 相談・教育の理論的基盤 第2回 1. 健康教育の理論、教育技法 2) 学習の理論 2. 健康教育の実際 1) 相談技術の基本 第3回 2. 健康教育の実際 2) 個別指導 (1) 産後健診/乳児一ヵ月健診 第4回 2. 健康教育の実際 3) 集団指導 集団指導による健康教育の基本技術 講師② 18時間 (試験 1H 含む) 第5回 2. 健康教育の実際 4) 学級活動の企画・運営・評価 両親学級について 第6～11回 2. 健康教育の実際 5) 学級活動の企画・運営・評価 両親学級の計画立案・運営準備 講師① 第12回 2. 健康教育の実際 2) 個別指導 (2) 受胎調節指導 第13回 2. 健康教育の実際 2) 個別指導 (3) 訪問指導技術 産後訪問指導 講師② 第14回 2. 健康教育の実際 3H 終了試験 1H					講義	講義	講義	講義	講義	演習	演習	演習
評価方法	筆記試験												
テキスト	助産学講座 5 基礎助産学 助産診断・技術学 I 医学書院 助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院												
参考書	講義中に掲示する												
学生へのメッセージ	助産師には対象にあった相談・教育の実施が求められます。そのための概念や理論を学び、相談・教育に用いることができるように学習を深めてください。												